

防災ニュース

2025年3月発行 車返西防災委員会

44号

2024年度の活動を振り返って

会長 浅野 大輔

「災害関連死を車返西住宅から出さない」を目標に、2024年度も皆さんと共に防災委員会の活動を進めました。

夏の防災訓練は8月31日を予定して進めていましたが、台風10号の影響による大雨が予報されていたため、28日の段階で中止を判断しました。台風はある程度事前の準備ができる気象現象です。結果的には大事に至りませんでした。訓練中止の判断は間違っていなかったのではないかと考えます。

そして冬の防災訓練では、安否確認とアルファ米の提供、給水場での給水訓練を行うことができました。アルファ米を提供するために、大量のお湯の準備をしました。暖かい物を提供する訓練として、急性期から亜急性期（発災後72時間～1ヶ月）を想定した訓練として有効であったと思います。そして給水訓練では、給水場の場所と発災後の断水の時にも給水場からの水の供給ができることを知っていただくことができたと思います。

これらの活動以外にも、防災委員会を通じて防犯カメラの設置について、議論されることがありました。各地で起きる重大事件に防犯カメラが役に立っていることや、この住宅においても放火事件が起きるなどがあったためです。次年度は、防犯カメラの設置について具体的に行動するべきであると考えています。車返西住宅の皆さんの安心した生活に資することができるよう、これからも防災委員会の活動を進めるとともに、住民の皆さんの積極的な参加をお願いしていきたいと考えています。ご協力をよろしくお願いいたします。

積雪・凍結防止のための融雪剤を散布しました

3月4日（水）、東京にも降雪予報が出ていたため、積雪・凍結防止の融雪剤の散布を行いました。8名の参加者がありました。今回は、積雪が無く雪掻きはありませんでしたので1時間程で各階段前スロープと敷地内歩道に撒くことができました。

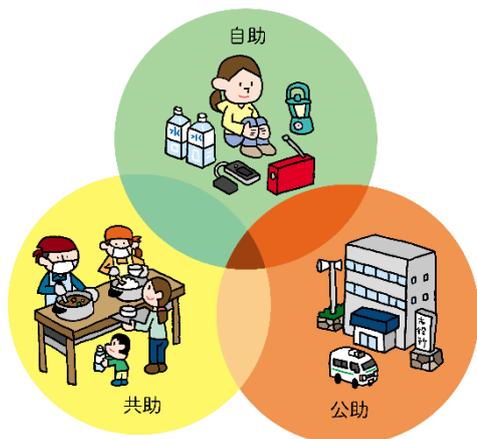
昨年度の大雪では、10名で雪掻きを行わなくてはならない状況で大変苦勞しました。そこで今回は雪予報が出た段階で掲示板に雪掻きや融雪剤の散布・不要不急の外出などのお願いポスターを貼り、啓発に努めました。



防災訓練を行いました

12月15日（日）に防災訓練を行いました。今回の防災訓練は、公助が機能するまでを想定して、車返団地内の自助・共助を強化する目的で行いました。

実際に災害が発生したときには、すぐに公助が得られるわけではなく、行政の支援が機能するまでの最低3日間は自助・共助が大切となります。



防災の三助	
自助	自分と家族の命や財産を守るために、自ら防災に取り組むこと 「自分の身は自分で守る」
共助	近隣住民や被災者と互いに助け合うこと 「被災者同士で助け合う」
公助	行政による公的な支援のこと 「行政の支援を受ける」

<防災訓練の想定>

12月15日（日）午前9時00分に、多摩地域を震源とする地震が発生し、府中市内で震度6強を記録し、車返西住宅（三街区）では電気・ガス・水道が止まり、怪我をされた方がでた

<防災訓練の内容>

- ・居住者の「安否確認訓練」「給水訓練」「クラッカー」「炊き出し訓練」（アルファ米）の配布
- ・お湯を使って簡単に味噌汁を作り、寒い時の暖かい飲み物の提供

<防災訓練の様子>

【安否確認訓練】 午前9時00分

- ・階段当番が、防災安否確認カードに各階段の「安否確認の結果」を記載
- ・棟世話人が防災安否確認カードを回収して、災害対策本部に提出
- ・災害対策本部からクラッカーを受け取る

<<<年末大掃除>>>

- ・年末大掃除が終了したら棟ミーティングを実施し、棟世話人より居住者にクラッカーを配布する
- ・みんなの広場で炊き出し（アルファ米・味噌汁）と同時に、給水訓練を実施していることを伝える



【炊き出し訓練】 午前7時30分

- ・ 予防部は午前6時30分に集合し、会場設営と炊き出し訓練の設営を開始
- ・ 午前7時30分 アルファ米の炊き出し訓練開始
(600食分のアルファ米をパックに詰めました)
- ・ みんなの広場でアルファ米を配布
- ・ 予備の寸胴鍋で、温かい味噌汁を作り、紙コップに入れて提供
(具はネギのみでしたが、とても温まりました。寒い時には温かいものがあるとホッとします)



プロパンガスでお湯を沸かし



→ パックに詰めて



→ 配布します

【給水訓練】 午前9時30分

- ・ みんなの広場に来てくださった方に空のペットボトルを配布して、給水訓練をアナウンスする
- ・ 空のペットボトルをもらった方は、給水場へ行き、実際にペットボトルに給水していただきました。

(実際の災害時には、ご家庭からペットボトル等をご持参いただくことになります)



給水場入口



給水の様子



蛇口は6つあります

今回、初めて給水訓練を行ったのですが、参加してくださった方々からは「こんなところにあっただんですね」「初めてこの場所に入りました」などの感想が聞かれました。

実際の災害時には、水の供給はとても重要です。車返西住宅管理組合給水場は7号棟南側の第六中学校に隣接している場所にあります。まず自分たちの給水場がどこにあるのかを知ることはとても大切なことです。今回の訓練で、場所を知ることができたのはとても意義のあることだと考えています。

今回は、訓練のためペットボトルを配布しましたが、実際の災害時は、各自入れ物をもって給水場へ来てください。

【折りたたみ担架の実演】 午前10時50分

全ての訓練終了後、防災委員会のミーティングにおいて折りたたみ担架の実演が行われました。コンパクトに折りたたんで保管できる、この折りたたみ担架は、持ち運びも便利なことから災害時に有用となります。



担架を広げます



大人6人で運べます



頭に気を付けて！！

【訓練終了】 午前11時30分

防災委員会の広報車によるアナウンスで訓練終了が告げられ、訓練が終了しました。お疲れさまでした。

<防災用品の展示販売>

今年度もライフ&ネクスト株式会社の協力で、防災用品の展示販売を行いました。防災訓練の合い間に足を止めて防災用品に見入っている方もいました。最近の非常食はとておいしいそうです。



LIFE & NEXT 社の展示ブース



たくさんの防災用品



どれがいいかなあ??

防災コラム（災害ごみについて）

府中市が発行している「ごみ・資源物の出し方カレンダー」には、大規模災害が発生した時の災害ごみについての記事が掲載されています。その記事によると、適切な分類が復旧への近道であると書かれています。

もしもの時は、府中市からのお知らせを確認し、具体的な分別・排出方法を確認しましょう。



府中市ホームページ
【災害ごみについて】